

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	HOUSE4	
科目基礎情報							
開設学科	ダンスパフォーマンス科		コース名	全コース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1単位					授業形態	実習
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する						
担当教員情報							
担当教員	SAM・PlnO・HERO			実務経験の有無・職種	有・プロダンサー		
学習目的							
この科目ではストレッチやアイソレーション等、ストリートダンスに必要な基本的な体の動きを学びます。またハウスのステップを確実に修得したうえで、作品作りではコンビネーションや様々なテクニックを学びます。							
到達目標							
HOUSEの基礎的な体の動きを土台とした応用的な表現方法をコンビネーションやルーティーンを通して理解する。音楽の中でグループを掴み表現する。							
教育方法等							
授業概要	ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。 毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。						
注意点	前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	0%					
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	SAM先生応用④			難易度の高いステップを組み合わせ時間内にグループで発表を行う			
2回	SAM先生応用⑤			時間内に基礎・応用を組み合わせたステップと振付を覚え、模擬オーディションを行う			
3回	SAM先生応用⑥			既定の振付に自分が得意なステップを組み合わせグループで発表を行う			
4回	PlnO先生応用④			ステップから基礎的なアクロバットへのスムーズな流れが実践できるようになる			
5回	PlnO先生応用⑤			ステップから難易度が高いアクロバットへの流れを実践し、グループで発表を行う			
6回	PlnO先生応用⑥			既定のステップと自由にアクロバットを各グループで構成し、グループで発表を行う			
7回	HERO先生応用④			既定のステップを複数の楽曲で踊り分け、音楽とリズムへの意識を高める			
8回	HERO先生応用⑤			グループに分かれ既定の振付を基にアレンジをし、発表をする			
9回	HERO先生応用⑥			変則的なリズムとステップも正確に表現ができるように実践する			
10回	卒業公演 振付①			振付師の考える楽曲・振付テーマ・表現したい内容を理解し、振付に取り組めるように準備する			
11回	卒業公演 振付②			ユニゾンパートの振付を練習する			
12回	卒業公演 振付③			ユニゾンパートの振付の精度をレベルチェックし、立ち位置を決める			
13回	卒業公演 振付④			オーディションを行いソロパート、少人数パートの出演者を決める			
14回	卒業公演 振付⑤			ソロ、少人数パートの振り入れを進め、ユニゾンパートに繋げる			
15回	レベルチェック			振付①～⑤までの精度を確認し、パート構成に臨む準備をする			